

松本市オンライン教育支援センター（まつとも）

オンラインを利用して、つながりのある人や場所を増やし生活を充実させることを主な目的としています。学習支援が主な目的ではありませんが、個別の学習相談に応じることは可能です。利用する小中学生の皆さんの希望をできるだけ取り入れて、安心して楽しむことができる居場所を目指しています。

やっていること

- 1 ClassroomのストリームやMeetを使って他の小中学生の利用者やスタッフと交流する。
- 2 仮想空間内のリンクから自分が使いたいサイトに行って、学習したり遊んだり相談したりする。
- 3 仮想空間で他の小中学生の利用者やスタッフ、大学生・社会人スタッフと交流する。
- 4 オフラインミーティングで他の小中学生の利用者やスタッフ、大学生・社会人スタッフと交流する。

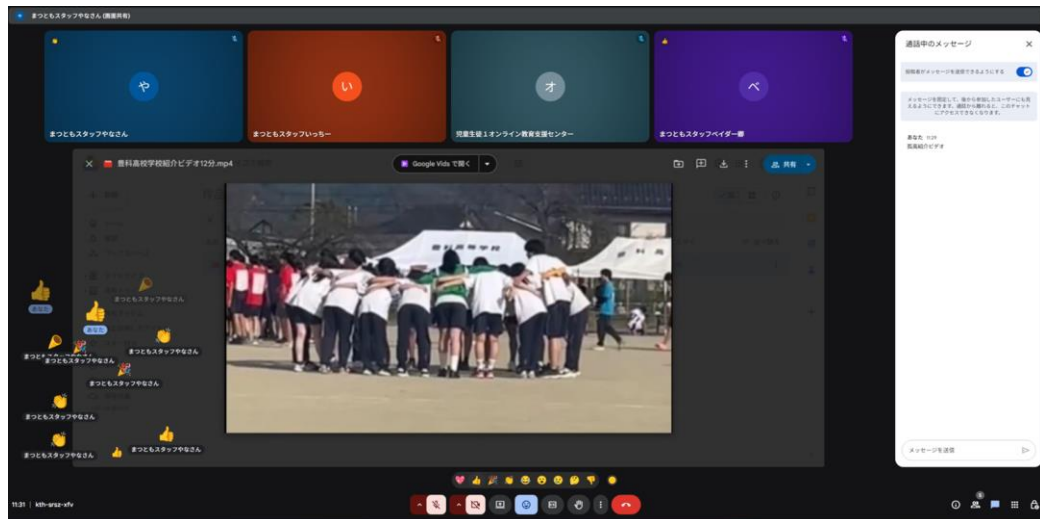
利用者の皆さんの希望をできるだけ取り入れて、できることを増やしたりやり方を変えたりしています。

1 ClassroomのストリームやMeetを使って他の小中学生の利用者やスタッフと交流する

センターで一人一台端末の設定、体験、通信テストをします（1時間40分程度）。後日、家庭とセンター間でMeetを使って通信テストをします（5分くらい）。その後も希望があれば日時を設定してMeetを使ったスタッフとの交流を続けます。

Classroom、仮想空間ともに利用にあたっては専用のアカウントを使用します。このアカウントを使用する時には、学校関係のものは表示されません。また、本名は表示されず、自分が決めたニックネームが表示されます。ストリームには、投稿用と連絡用の2つのクラスがあります。スタッフからのお知らせだけでなく利用者からの投稿も盛んにおこなわれています。

Meetを利用して、利用者から好きな曲のリクエストを募って聴き合うイベントや高校紹介のビデオをみんなで視聴するイベントも行っています。

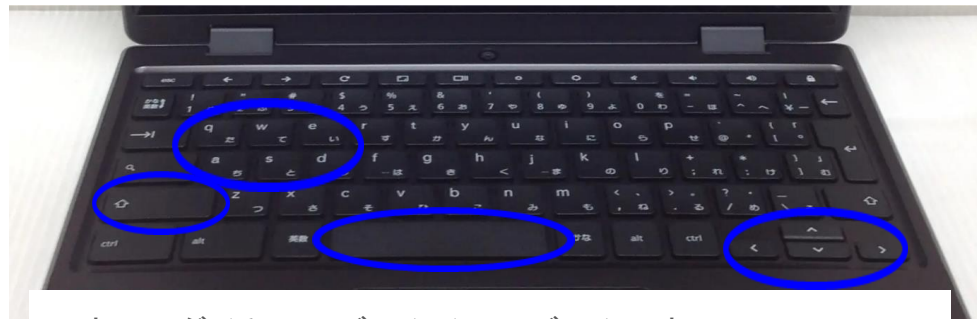


高校紹介のビデオをMeetの共有機能を使って視聴している様子です。映像は仮想空間のスクリーンでも共有しています。カメラやマイクは基本的にオフにしていますが、チャットやリアクション機能を使ってコミュニケーションをとっています。

2 仮想空間内のリンクから自分が使いたいサイトに行き、学習したり遊んだり相談したりする

Classroomや仮想空間には利用者やスタッフ等の関係者以外は入ってこないのので、教育委員会が貸し出している一人一台端末がインターネットにつながる6:00から22:00まで使えるようにしています。センターでの機材設定、体験、通信テストの後、自分の都合のよい時に利用することができます。長時間利用による健康被害やネット依存の心配はありますので、利用時間のコントロールは保護者の方も一緒にお願いします。スタッフが仮想空間にいるのは平日の10:00～12:00と13:00～14:00です。仮想空間内では、上にニックネームが表示されたアバターで活動します。アバターは自分で作り変えることができます。

W(または↑)で奥へ移動、S(または↓)で手前に移動、A(または←)で左に移動、D(または→)で右に移動、Qで左に視界移動、Eで右に視界移動。スペースキーでジャンプ。↑キーを同時に押しと動きが速くなる。

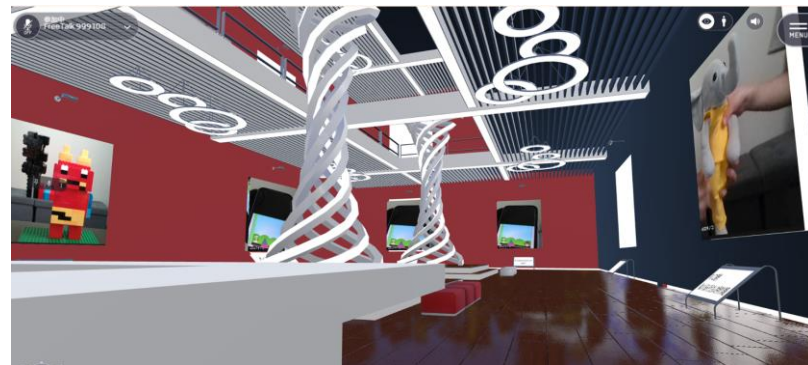


マウスのダイヤルでズームイン、ズームアウト
マウスを左クリックしながら上下左右で視界の上下左右移動





エントランス(入り口となる部屋 他の空間へのリンクやお知らせなどを掲示)



ギャラリー(子どもたちの投稿作品、スクリーンショット、高校紹介のビデオなどを展示)



3 仮想空間で他の小中学生の利用者やスタッフ、大学生・社会人スタッフと交流する

仮想空間でもボイスチャットやチャットを使って空間内の他のアバターとやり取りができます。



ホール：ボイスチャットを使いたいときに利用する部屋です。雑談、飲食店ごっこ（カフェなど）、「私は誰でしょう」、「しりとり」などをやっています。

あそびば：鬼ごっこをするときに使っています。松本工業高校の生徒が松本城をモデルに作った空間です。



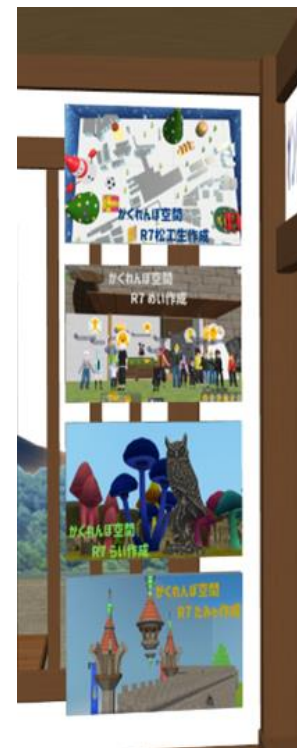


高校生ボランティア(一昨年度の中学校3年生だった利用者)が作成した4つの空間です。かくれんぼ、おにごっこやアスレチックで使っています。

昨年度、利用者が作成した5つの空間です



仮想空間の機能を利用して、空間づくりを始めた利用者もいます。



昨年度、かくれんぼ大会用に高校生ボランティア(一昨年度の中学校3年生だった利用者と松本工業高校の昨年度の3年生3名)が作成した空間2つと利用者が作成した空間2つです



昨年度、松本工業高校の高校生ボランティアや利用者が作った「かくれんぼ大会」用の4つの空間で4回かくれんぼ大会を楽しみました。

4 オフラインミーティングで他の小中学生の利用者やスタッフ、大学生・社会人スタッフと交流する

令和7年8月に初めてのオフラインミーティングとなる「プラネタリウムを見る会」を行いました。利用者の希望を受けて、その後10月に「ハロウィンパーティー」、12月に「クリスマスパーティー」、2月に「春待ちパーティー」を行いました。令和8年度は、5月22日に「はじめましてパーティー」を行いました。様々な場所や内容で年間10回程度を予定しています。



10月の「ハロウィンパーティー」で

その他

オンライン教育支援センターでは利用者がClassroomのフォームで送信して残した利用記録をもとに利用した日を記録し、月ごとの利用状況を学校と家庭にお知らせします。松本市教育委員会では、オンライン教育支援センターの利用について、学校長の判断で出席扱いにできるとしています。